

欧州株より米国株が優位の局面継続か

シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 欧州株の恐怖指数は依然高水準

3月9日の欧米株式市場は主要指数が大幅に上昇しました。UAE（アラブ首長国連邦）がOPEC（石油輸出国機構）加盟国に増産を促しているとの報道や、イラクがOPECプラスの要請があれば増産する姿勢を示したとの報道などを受け、足元で急騰していた原油価格が大幅に反落したことが背景にあるとみられます。また、ウクライナの大統領が、戦争終結に向けて一定の譲歩を検討することに前向きだと述べたほか、同大統領の側近が安全保障の確約を得られれば、政治的な中立性をロシアと議論することにオープンだと述べたことも、投資家心理の改善につながったとみられます。

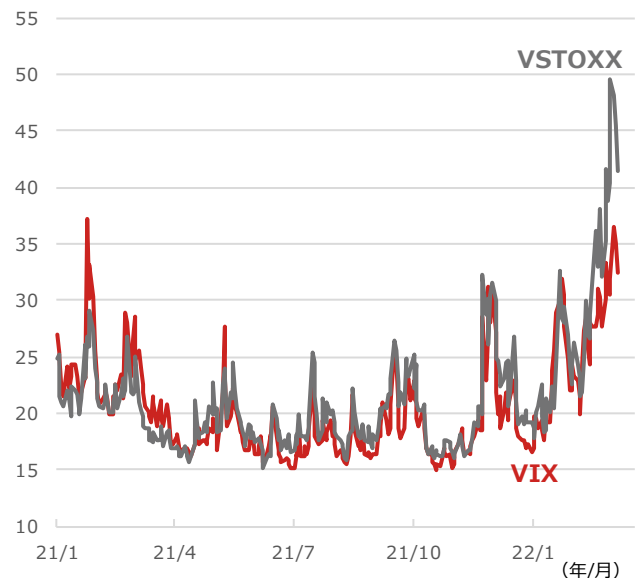
もっとも、ヘッドラインで市場が大きく動いていることは市場心理が依然不安定であることを示しています。米欧株のボラティリティ・インデックスは急低下したとはいえ、高水準に変わりはなく、とりわけ欧州株の同指数は40超の状態が続くなど、今後も変動率の高い相場が続くことを示唆しています（右上図）。

ポイント② 欧州株より米国株優位は続く公算

EUのロシア産天然ガス輸入依存度は約47%（2021年前期、EU統計局）となっていることに加え、ロシア向けの対外与信残高の7割超を欧州の金融機関が占めている（2021年9月末、BIS）ことも欧州株にとっては不透明要因といえます。

金融ストレスの状況を示す米欧の金融状況指数をみると、右下図にあるように2021年初以降は、米国よりも欧州にストレスがかかっている状況です。欧州は今後もロシアへの制裁の影響を受けやすい構造にあることを踏まえれば、当面は欧州株よりも米国株が優位な展開が続くと考えられます。

米欧株のボラティリティ・インデックス（恐怖指数）



期間：2021年1月4日～2022年3月9日、日次
・VIXは米国株、VSTOXXは欧州株のボラティリティ・インデックス（恐怖指数）
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米欧株相対指数と米欧金融状況指数差



期間：2021年1月4日～2022年3月9日、日次
・米欧株相対指数の上昇（低下）は米国株が欧州株に対して優位（劣後）の状況を示す
・米欧金融状況指数差の上昇（低下）は米国の金融環境が欧州に対して良好な（悪化している）状態を示す
・米欧の金融状況指数はBloomberg Financial Conditions Indexを用いた
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。